

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	教育委員会運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	1	1	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会の場を設ける。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、引き続き学校や教育機関との意見交換の機会の場を設ける。
②①に基づく取り組み結果	教育委員会定例会を学校(中部小・南部小)や学校給食センターを会場として開催するなど、学校現場との意見交換を積極的に行い、教育委員会の活性化を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	教育委員会委員	意図(対象をどうするのか)	人格が高潔で、教育、学術、文化に関する識見を有する者を任命する
②事務事業の概要	毎月1回定例会を開催し、本市の教育方針や教育行政にかかる議決事項を審議し決定している。なお、教育長が必要と認めるとき、または委員2人以上から会議に付する案件を示して会議の招集の請求があったときは臨時会を開催する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	教育委員会の大幅な教育政策の変換期にあることから、他市の動向を把握しながら、新しい教育委員会体制を確立する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	生涯学習の推進、芸術・文化の振興、文化財の保存、スポーツの振興など様々な教育行政に対し、教育委員会委員による多様な民意を反映した。				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 定例会の回数	12	12	12	実施回数
	ii 臨時会の回数	5	7	5	実施回数
	iii 議決された案件	46	33	35	議決案件数
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	2,272	2,243	金額(千円)	内容	2,248
	国支出金(千円)		2,208	教育委員会委員報酬	
	県支出金(千円)				
	市債その他(千円)				
	一般財源(千円)	2,272	2,243		2,248

IV 評価・検討

①課題	教育に携わる者の意欲や達成感の向上を図り、鎌ヶ谷市の教育行政を推進することが課題である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	鎌ヶ谷市の教育行政の発展のため、的確な情報や学校の課題を引き続き把握する必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越
		H27⇒28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成29年度への繰越額(単位:千円)				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設維持補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	鎌ヶ谷小学校の外壁屋上改修工事の際に老朽化した建具の改修を併せて行う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	中部小学校・東部小学校・西部小学校のトイレ改修工事、第二中学校の外壁屋上改修工事の際にサッシ等附帯設備の改修を行う。
②①に基づく取り組み結果	鎌ヶ谷小学校の外壁屋上改修工事の際に老朽化した建具の改修を併せて行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校校舎・体育館	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る
②事務事業の概要	老朽化した施設、設備等について、計画的に改修を行い、学習環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の建設時期が一定期間に集中していることから、全体的に老朽化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	予定した事業を全て計画通りに完了し、学習環境の向上を図った。				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 校舎工事に関する生徒/全生徒	29	18	13%	実施校生徒数/全生徒数
	ii 体育館工事に関する生徒/全生徒	0	0	0%	実施校生徒数/全生徒数
iii その他工事に関する生徒/全生徒	20	13	13%	実施校生徒数/全生徒数	
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	194,709	186,175	金額(千円)	内容	323,609
国支出金(千円)			4,320	鎌小外壁等改修工事設計	37,470
県支出金(千円)			5,197	中部小トイレ改修工事設計	
市債その他(千円)	145,000	140,800	142,098	鎌小外壁等改修工事	265,600
一般財源(千円)	49,709	45,375	34,560	鎌小プール改修工事	20,539

IV 評価・検討

①課題	施設の老朽化に伴い、事業の進捗ペースを速める必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴い、改修ペースを前倒しする必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	鎌小外壁等改修工事、鎌小プール改修工事、中部小トイレ改修工事設計	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。中部小トイレ改修工事の設計を行った。	353,912	352,252	当初	199,912	186,175	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越				
③達成状況	未完了			補正	154,000		現年分	186,175
④未完了・非着手の理由	国の補正予算に伴い、3月補正予算で追加した中部小トイレ改修工事は平成29年度に繰越した為。			流用・充当	-1,660			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)						147,070

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設用地整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度に購入した西部小学校用地は、車両通行用の進入路の拡幅及び駐車場の整備を行う。 五本松小学校用地の購入を行う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	なし(現段階での事業計画はなし)
②①に基づく取り組み結果	西部小学校用地について、電源設備の移設及びアスファルト舗装工事(進入路拡幅・駐車場整備)を行った。また、借用していた五本松小学校用地の購入を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校施設	意図(対象をどうするのか)	施設運営に必要な用地を確保する。
②事務事業の概要	小中学校の児童・生徒の活動環境向上のため、必要な用地を確保する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	小中学校の借地部分は、事業の進捗に伴い残りわずかとなっているが、今後も必要に応じ、用地の取得・整備を行う。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	西部小学校用地の整備及び五本松小学校用地の購入を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	用地の購入状況	75	80	100	%	完了数/予定学校数(5校)
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算	
事業費(千円)	11,477	226,668	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)			1,354	五小用地不動産鑑定委託			
県支出金(千円)			8,730	西部小進入路整備工事			
市債その他(千円)	10,200	190,400	215,400	五小用地購入費			
一般財源(千円)	1,277	36,268				0	

IV 評価・検討

①課題	予定していた用地購入及び整備が完了し、現段階では事業計画はなし。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	27年度に購入した西部小学校用地の整備を完了させるとともに、借地であった五本松小学校用地の購入を行った(残る借地の学校用地については、現段階では購入等の整備予定はないが、地権者からの打診等がなされた際には検討を行う)。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	西部小学校進入路整備工事 五本松小学校用地購入	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。	229,260	229,260	当初	13,860	H27からの繰越	0	
				H27⇒28繰越				
③達成状況	完了			補正	215,400	226,668	現年分	226,668
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成29年度への繰越額(単位:千円)				0		

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設校舎増設事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成28年度新規事業のため、前回評価なし。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	五本松小学校の児童数増加に対応した教室数を確保するため、新たな校舎(普通教室棟・特別教室棟)を整備するにあたり、併せて校庭等の外構整備工事を行う。
②①に基づく取り組み結果	平成28年度新規事業のため、取り組み結果なし。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校校舎	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る
②事務事業の概要	五本松小学校の児童数増加に対応した教室数を確保するため、新たな校舎を整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷周辺地区への人口流入が続いており、平成34年度においては4教室の不足が見込まれていることから、これに対応するための校舎の整備は急務である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	普通教室(4教室)及び特別教室(図書室・音楽室)の整備工事の設計を完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	増設工事に関する生徒/全生徒				8%	実施校生徒数/全生徒数
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	0	9,127	金額(千円)		内容	307,685	
国支出金(千円)			495		五小用地測量委託	62,239	
県支出金(千円)			8,730		五小校舎整備工事設計委託		
市債その他(千円)		6,400				204,300	
一般財源(千円)		2,727				41,146	

IV 評価・検討

①課題	五本松小学校の児童数増加に対応した教室数を確保するため、速やかな対応が求められている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	工事の進捗を適正に管理していく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	五本松小学校校舎増設工事の設計	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。	11,155	11,155	当初	11,155	9,127	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越			現年分	9,127
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円)		0				